

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公表番号】特表2019-505576(P2019-505576A)

【公表日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-008

【出願番号】特願2018-552645(P2018-552645)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 P 17/14 (2006.01)

A 6 1 Q 7/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/506

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 8/34

A 6 1 P 17/14

A 6 1 Q 7/00

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 47/12

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年11月11日(2020.11.11)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

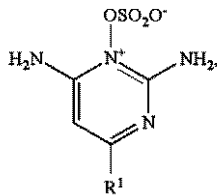
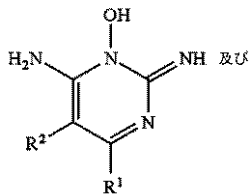
【請求項1】

組成物であって、

a．液体小胞であって、

i．式I又はII：

【化 1】



で表される育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は -N(R^3)(R^4) であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4-低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、前記複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0～3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩のうちの 1 つ又は 2 つ以上と、

i i . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

を含む、液体小胞と、

b . 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 を超える比で含む、粘度調整剤と、

c . 1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0 . 5 重量%～約 3 重量%であり、かつ前記液体小胞は、前記薬学的に許容される局所用担体内に懸濁されている、組成物。

【請求項 2】

前記可溶化剤が、1 つ若しくは 2 つ以上の $C_1 \sim C_3$ アルコール、1 つ若しくは 2 つ以上の多価アルコール、又はこれらの混合物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記組成物が、約 0 . 1 重量%～約 1 . 5 重量%のミノキシジル又は薬学的に許容されるその塩を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記組成物が、約 0 . 5 重量%～約 1 . 0 重量%のミノキシジル又は薬学的に許容されるその塩を含む、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記薬学的に許容される担体が、ミノキシジル又は薬学的に許容されるその塩を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記組成物が、約 0.1 重量% ~ 約 15 重量% の前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルが、セチルアルコールのエステルである、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルが、乳酸エステルである、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルが、乳酸セチルである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルが、乳酸ミリスチルである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルが、 $C_{12} \sim C_{15}$ 乳酸アルキルの混合物である、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記組成物が、ポリオキシエチレン $C_4 \sim C_{26}$ 脂肪エーテルを更に含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記組成物が、ポリオキシエチレン $C_{10} \sim C_{18}$ 脂肪エーテルを更に含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記組成物が、約 0.1 重量% ~ 約 15 重量% の前記ポリオキシエチレン $C_4 \sim C_{26}$ 脂肪エーテルを含む、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 3 : 1 より大きい、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 10 : 1 以下である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記組成物が、Brookfield RV により、スピンドル 4、速度 6 RPM で測定すると、約 50 cps ~ 約 30000 cps の粘度を有する、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記組成物が、Brookfield RV により、スピンドル 4、速度 6 RPM で測定すると、約 100 cps ~ 約 10000 cps の粘度を有する、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記組成物が、TA Instruments ARES G2 Rheometer を使用して、本明細書に記載される方法に従って測定すると、約 0.01 Pa·s ~ 約 5 Pa·s の降伏応力値を有する、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記組成物が、10 以上のずり減粘指数を有する、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記組成物が、約 0.1 重量% ~ 約 40 重量% の、前記 1 つ又は 2 つ以上の $C_1 \sim C_3$ アルコールを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 22】

前記 1 つ又は 2 つ以上の $C_1 \sim C_3$ アルコールが、エタノールを含む、請求項 21 に記載の組成物。

【請求項 23】

前記液体小胞が、非リン脂質の液体小胞である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 24】

前記液体小胞が、約 $0.05 \mu m \sim 20 \mu m$ の平均直径を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 25】

前記カルボキシメチルセルロースのカルボキシメチル置換度が約 $0.6 \sim 0.9$ である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 26】

前記カルボキシメチルセルロースのカルボキシメチル置換度が約 0.7 である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 27】

前記カルボキシメチルセルロースの平均重合度が約 $2500 \sim 3500$ である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 28】

前記カルボキシメチルセルロースの平均重合度が約 3200 である、請求項 27 に記載の組成物。

【請求項 29】

前記カルボキシメチルセルロースの重量平均分子量が約 $650,000 \sim 750,000$ である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 30】

前記カルボキシメチルセルロースの重量平均分子量が約 $675,000 \sim 730,000$ である、請求項 29 に記載の組成物。

【請求項 31】

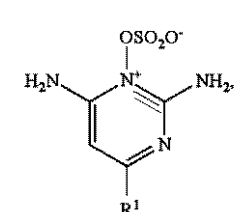
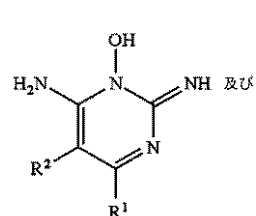
前記組成物が貯蔵安定性である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 32】

組成物であって、

a. 式 I 又は II :

【化 2】



で表される、育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は $-N(R^3)(R^4)$ であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ペリリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、前

記複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩のうちの 1 つ又は 2 つ以上と、

b . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

c . 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 を超える比で含む、粘度調整剤と、

d . 1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

前記組成物は多層小胞を含み、更に、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0 . 5 重量 % ~ 約 3 重量 % である、組成物。

【請求項 33】

組成物であって、

a . ミノキシジル又は薬理的に許容されるその酸付加塩と、

b . 乳酸セチル、乳酸ミリスチル、又はこれらの混合物と、

c . ステアレス - 10 と、

d . 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 を超える比で含む、粘度調整剤と、

e . 薬学的に許容される局所用担体であって、

i . エタノール、

ii . 乳酸、

iii . ペンチレングリコール、及び

iv . グリセリン、

を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

前記組成物は多層小胞を含み、更に、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0 . 5 重量 % ~ 約 3 重量 % である、組成物。

【請求項 34】

薬学的に許容される液体担体内に懸濁する液体小胞を含む組成物であって、前記液体小胞が、

a . ミノキシジル又は薬理的に許容されるその酸付加塩と、

b . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルであって、任意に前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルはセチルアルコールのエステルであるか、任意に前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルは乳酸エステルであるか、又は任意に、前記カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルはミリスチルアルコールのエステルである、カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

を含み、

前記薬学的に許容される液体担体は、

i . 1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸、又はこれらの混合物と、

ii . 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 を超える比で含む、粘度調整剤と、

を含み、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0.5 重量% ~ 約 3 重量%である、組成物。

【請求項 35】

組成物であって、

- a. ミノキシジル又は薬理的に許容されるその酸付加塩と、
- b. カルボン酸の C8 ~ C24 アルコールエステルと、
- c. 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 を超える比で含む、粘度調整剤と、
- d. 1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む薬学的に許容される液体担体と、

を含み、

前記組成物は液体小胞を含み、更に、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0.5 重量% ~ 約 3 重量%である、組成物。

【請求項 36】

組成物であって、

- a. ミノキシジル又は薬理的に許容されるその酸付加塩と、
- b. 乳酸セチル、乳酸ミリスチル、又はこれらの混合物と、
- c. ステアレス - 10 と、
- d. 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 を超える比で含む、粘度調整剤と、
- e. 薬学的に許容される局所用担体であって、
 - i. エタノール、
 - ii. 乳酸、
 - iii. ペンチレングリコール又はプロピレングリコール、及び
 - iv. グリセリン、

を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

前記組成物は液体小胞を含み、更に、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0.5 重量% ~ 約 3 重量%である、組成物。

【請求項 37】

育毛治療を必要とする対象における育毛方法であって、前記対象の育毛が所望される領域に、請求項 1 に記載の組成物を局所的に適用することを含む、方法。

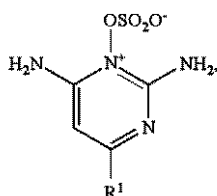
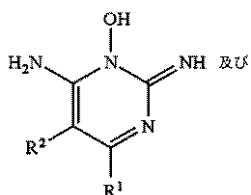
【請求項 38】

脱毛を遅らせるか又は育毛若しくは発毛を促進するための組成物の貯蔵安定性を改善する方法であって、前記方法は、非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 超 ~ 10 : 1 の比で含む、粘度調整剤を、前記組成物に添加する工程を含み、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0.5 重量% ~ 約 3 重量%であり、前記組成物は、

- a. 1 種又は 2 種以上の多層小胞であって、

- i. 式 I 又は II :

【化 3】



で表される育毛化合物及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は - N (R^3) (R^4) であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、前記複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩と、

i i . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

を含む、1 種又は 2 種以上の多層小胞と、

b . 1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

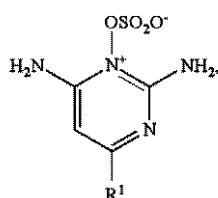
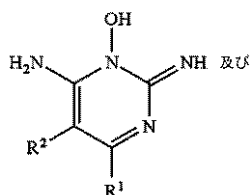
前記組成物は、40 及び 5 で少なくとも 1 週間、貯蔵安定性である、方法。

【請求項 39】

脱毛を遅らせるか又は育毛若しくは発毛を促進するための組成物の貯蔵安定性を改善する方法であって、前記方法は、非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 超 ~ 10 : 1 の比で含む、粘度調整剤を、前記組成物に添加する工程を含み、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0 . 5 重量% ~ 約 3 重量% であり、前記組成物は、

a . 約 0 . 1 % ~ 約 20 % の、式 I 又は II で表される化合物：

【化 4】



の 1 つ又は 2 つ以上の薬学的に許容される付加塩及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は $-N(R^3)(R^4)$ であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、前記複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、1 つ又は 2 つ以上の薬学的に許容される付加塩及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩と、

b . 約 0 . 5 重量 % ~ 約 1 0 重量 % の油相と、

c . 約 0 ~ 約 2 5 % の $C_2 \sim C_4$ アルコールと、

を含み、

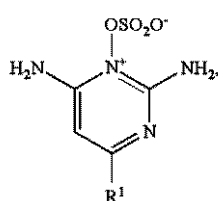
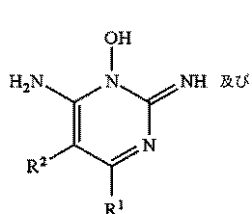
前記組成物は、pH が約 3 ~ 約 5 であり、更に、40 及び 50 で少なくとも 1 週間、貯蔵安定性である、方法。

【請求項 40】

育毛又は発毛組成物であって、

a . 約 0 . 1 % ~ 約 2 0 % の、式 I 又は II で表される化合物：

【化 5】



の 1 つ又は 2 つ以上の薬学的に許容される付加塩及びこれらの混合物であって、式中、

R^1 は水素又は $-N(R^3)(R^4)$ であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、前記複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、1 つ又は 2 つ以上の薬学的に許容される付加塩及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩と、

b. 約 0.5 重量% ~ 約 10 重量% の油相と、

c. 約 0 ~ 約 25 % の $C_2 \sim C_4$ アルコールと、

d. 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 超 ~ 10 : 1 の比で含む、粘度調整剤と、

を含み、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0.5 重量% ~ 約 3 重量% であり、

前記組成物は、pH が約 3 ~ 約 5 であり、更に、40 及び 50 で少なくとも 1 週間、貯蔵安定性である、育毛又は発毛組成物。

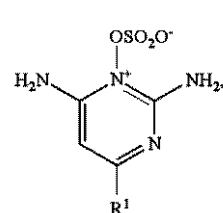
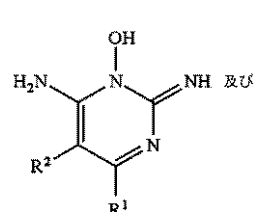
【請求項 41】

脱毛を遅らせるか又は育毛若しくは発毛を促進するための組成物の貯蔵安定性を改善する方法であって、前記方法は、非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの前記高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 超 ~ 10 : 1 の比で含む、粘度調整剤を、前記組成物に添加する工程を含み、前記非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと前記高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、前記総組成物に対して約 0.5 重量% ~ 約 3 重量% であり、前記組成物は、

a. 1 種又は 2 種以上の多層小胞であって、

i. 式 I 又は II :

【化 6】



で表される育毛化合物及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は $-N(R^3)(R^4)$ であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ペリジノ、ヘキサヒドロ

アゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、前記複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩と、

i i . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

を含む、1 種又は 2 種以上の多層小胞と、

b . 1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

前記組成物は、40 及び 50 で少なくとも 1 週間貯蔵した後に、2 つ以上の別個の相に分離することがない、方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

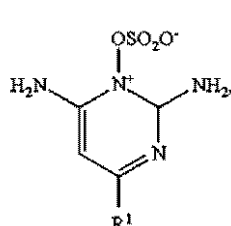
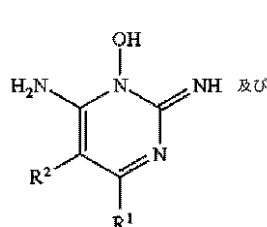
【訂正対象項目名】0013

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0013】

【化 1】



で表される、育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物であって、

式中、 R^1 は水素又は $-N(R^3)(R^4)$ であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、当該複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩のうちの 1 つ又は 2 つ以上と、

i i . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルであって、任意に当該カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルはセチルアルコールのエステルであるか、任意に当

該カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルは乳酸エステルであるか、又は任意に、当該カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルはミリスチルアルコールのエステルである、カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

を含む、1種又は2種以上の多層小胞と、

b. 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースを、当該非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの当該高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約1:1を超える比で含む、粘度調整剤と、

c. 1つ若しくは2つ以上の可溶化剤、1つ若しくは2つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

当該非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと当該高分子量カルボキシメチルセルロースの合計濃度は、総組成物に対して約0.5重量%～約3重量%である、組成物に関する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

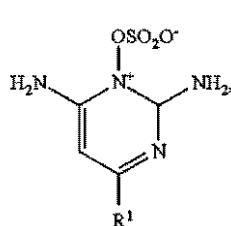
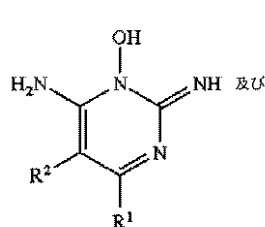
【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

【化2】



で表される、育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物であって、

式中、 R^1 は水素又は $-N(R^3)(R^4)$ であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び4-低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、当該複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として0～3個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリアル、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩のうちの1つ又は2つ以上と、

b. カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルであって、任意に当該カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルはセチルアルコールのエステルであるか、任意に当該カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルは乳酸エステルであるか、又は任意に、当該カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルはミリスチルアルコールのエステルである

、カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

c．非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースとを、当該非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの当該高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 を超える比で含む、粘度調整剤と、

d．1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

当該組成物は多層小胞を含み、更に、当該非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと当該高分子量カルボキシメチルセルロースの合計濃度は、総組成物に対して約 0 . 5 重量 % ~ 約 3 重量 % である、組成物に関する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

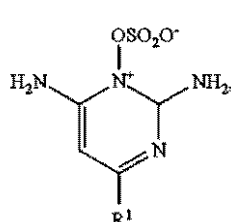
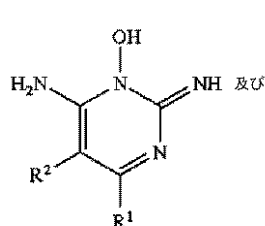
【訂正対象項目名】0 0 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 1】

【化 3】



の薬学的に許容される付加塩又はこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は - N (R^3) (R^4) であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ペリリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、当該複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、薬学的に許容される付加塩又はこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩のうちの 1 つ又は 2 つ以上と、

b．約 0 . 5 重量 % ~ 約 1 0 重量 % の油相と、

c．約 0 ~ 約 2 5 % の $C_2 \sim C_4$ アルコールと、

d．非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースを、当該非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの当該高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 超 ~ 1 0 : 1 の比で含む、粘度調整剤と、

を含み、当該非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと当該高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、総組成物に対して約 0 . 5 重量 % ~ 約 3 重量 % であり、

当該組成物は、pHが3～5であり、更に、40及び5で、少なくとも1週間、任意には少なくとも7週間、貯蔵安定性である、育毛又は発毛組成物に関する。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

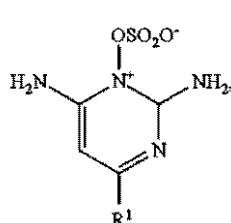
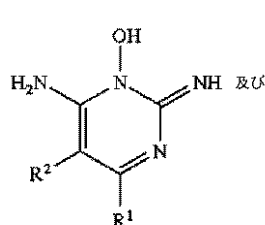
【訂正対象項目名】0023

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0023】

【化4】



により表される育毛化合物及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は-N(R^3)(R^4)であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び4-低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、当該複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として0～3個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラキル、低級アルカリル、低級アルカラキル、低級アルコシアラキル、及び低級ハロアラキルからなる群から選択される、育毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩と、

i i . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

を含む、1種又は2種以上の多層小胞と、

b . 1つ若しくは2つ以上の可溶化剤、1つ若しくは2つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

当該組成物は、40及び5で、少なくとも1週間、任意には少なくとも7週間、貯蔵安定性である。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

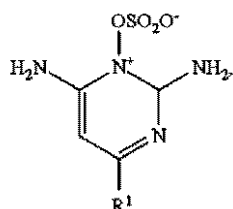
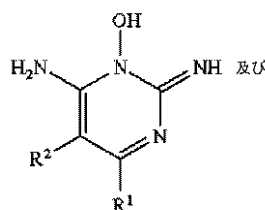
【訂正対象項目名】0025

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

【化 5】



により表される育毛化合物及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は - N (R^3) (R^4) であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、当該複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩と、

b. 約 0.5 重量% ~ 約 10 重量% の油相と、

c. 約 0 ~ 約 25 % の $C_2 \sim C_4$ アルコールと、

を含み、

当該組成物は、pH が約 3 ~ 約 5 であり、更に、40 及び 5 で、少なくとも 1 週間、任意には少なくとも 7 週間、貯蔵安定性である。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

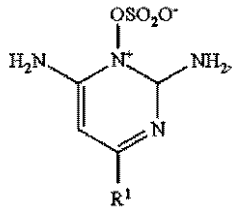
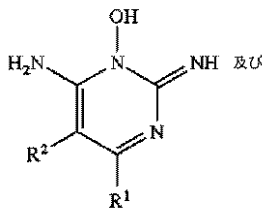
【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

【化 6】



により表される育毛化合物及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は - N (R^3) (R^4) であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、当該複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩と、

i i . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

を含む、1 種又は 2 種以上の多層小胞と、

b . 1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用担体と、

を含み、

この組成物は、40 及び 50 で少なくとも 1 週間貯蔵した後に、2 つ以上の別個の相に分離することがない。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

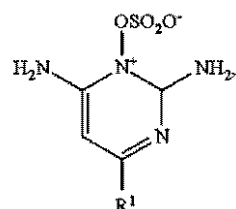
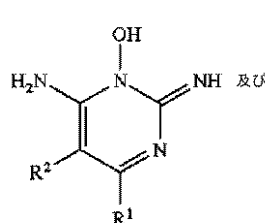
【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

【化 7】



で表される育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物であって、式中、 R^1 は水素又は -N(R^3)(R^4)であり、各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、当該複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコキシアラルキル、及び低級ハロアラルキルからなる群から選択される、育毛又は発毛化合物及びこれらの混合物、これらの互変異性体、並びに薬理的に許容されるこれらの酸付加塩のうちの 1 つ又は 2 つ以上と、

i i . カルボン酸の $C_8 \sim C_{24}$ アルコールエステルと、

を含む、液体小胞と、

b . 非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと高分子量カルボキシメチルセルロースを、当該非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースの当該高分子量カルボキシメチルセルロースに対する比が約 1 : 1 を超える比で含む、粘度調整剤と、

c . 1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化剤、1 つ若しくは 2 つ以上の可溶化酸又はこれらの混合物を含む、薬学的に許容される局所用 (所望により液体) 担体と、

を含み、

当該非イオン性ヒドロキシプロピルメチルセルロースと当該高分子量カルボキシメチルセルロースとの合計濃度は、総組成物に対して約 0 . 5 重量 % ~ 約 3 重量 % であり、かつこの液体小胞は、薬学的に許容される局所用担体内に懸濁されている、組成物に関する。

【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0048

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0048】

R^1 は水素又は -N(R^3)(R^4)である。各 R^3 及び R^4 は、個々に、水素、低級アルキル、低級アルケニル、低級アラルキル、及び低級シクロアルキルからなる群から選択され、 R^3 及び R^4 は、一緒になって、アジリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジノ、ヘキサヒドロアゼピニル、ヘプタメチレンイミノ、オクタメチレンイミノ、モルホリノ、及び 4 - 低級アルキルピペラジニルからなる群から選択される複素環部分であってもよく、当該複素環部分のそれぞれは、炭素原子上の置換基として 0 ~ 3 個の低級アルキル基、ヒドロキシ、又はアルコキシが結合しており、 R^2 は、水素、低級アルキル

、低級アルケニル、低級アルコキシアルキル、低級シクロアルキル、低級アリール、低級アラルキル、低級アルカリル、低級アルカラルキル、低級アルコシアラルキル、及び低級ハロアラルキル、これらの互変異性体、並びに薬理学的に許容されるこれらの酸付加塩（例えばその硫酸塩）からなる群から選択される。